

# 次期「にっこり安心プラン」における 施策の方向性と主な施策

宇都宮市保健福祉部高齢福祉課

## 基本目標 1 みんながつながり、支えあう地域社会の実現

| 施策の方向性          | 課題の整理   | 主な施策   |
|-----------------|---|--|
| 地域保健・福祉体制の充実    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ひとり暮らし高齢者等安心ネットワークシステムの構築など、地域社会全体で高齢者を支える体制づくりを進めており、引き続き、高齢者が安心して暮らせるよう、地域を支えるボランティアの養成・活動に対する支援や、関係機関・団体等と緊密に連携した地域づくりを進める必要がある。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地域福祉を支える基盤の整備<br/>⇒ 自治会をはじめとする関係機関・団体等と連携した地域づくりの推進 など</li> <li>○ 地域福祉活動への参画促進<br/>⇒ 地域を支えるボランティアの養成・活動への支援充実 など</li> </ul> |
| ユニバーサルデザインの推進   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 広報紙による周知・啓発や「宇都宮市民福祉の祭典」など各種事業を通じ、「こころ」と「生活環境」のバリアフリーに対する理解を深めており、引き続き、身近な交流活動を通じた福祉のこころをはぐくむ取組を進める必要がある。</li> </ul>                           | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ こころのユニバーサルデザイン運動の推進<br/>⇒ イベントや身近な交流活動を通じた福祉のこころをはぐくむ人づくりの充実 など</li> </ul>  |
| 安全で安心な暮らしの確保    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 交通安全教室や災害時要援護者登録制度など各種事業に取り組んでおり、引き続き、高齢者が住み慣れた地域において安全で安心な暮らしを確保できるよう支援体制の充実を図る必要がある。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 災害時の安全確保<br/>⇒ 災害時に迅速・的確な対応ができる支援体制の充実 など</li> <li>○ 防犯・交通安全対策等の推進<br/>⇒ 高齢者の身近な場所での啓発・教育活動の充実 など</li> </ul>                |
| 高齢者にやさしい居住環境の整備 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ アンケート調査の結果、高齢者の住まいについては「持ち家」、「民間賃貸住宅」の順となっている。</li> <li>・ 高齢者が地域において安心して住み続けることができるよう、居住環境の整備に対する支援が必要である。</li> </ul>                          | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 高齢者の多様な住まいの支援<br/>⇒ 住宅改修支援事業の実施など</li> <li>⇒ サービス付き高齢者住宅などの居住環境整備 など</li> </ul>   |

## 基本目標 2 健康で生きがいのある豊かな生活の実現

| 施策の方向性          | 課題の整理  | 主な施策  |
|-----------------|--|---|
| 健康づくりによる健康寿命の延伸 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域での健康づくりの核となる「健康づくり推進員」の養成・支援に取り組んでおり、引き続き、市民に身近な地域の仲間として、健康づくり推進員を活用した地域主体の健康づくりを進める必要がある。</li> <li>・ メタボリックシンドローム予備群や該当者を減少させるなど生活習慣病の予防のため、特定健康診査に取り組んでいるものの目標を達成することができなかった。</li> <li>・ アンケート調査の結果、介護・介助が必要になった原因や現在治療中の病気として、脳卒中や高血圧などの生活習慣病の占める割合が高くなっていることから、一次予防に重点を置いた対策をより一層強力に推進する必要がある。</li> <li>・ 高齢者をはじめとした市民が健康的な生活習慣を確立できるよう、健康づくりに対する意識啓発を図る必要がある。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 健康づくりの意識啓発<br/>⇒ 健康づくり推進員を活用した地域主体の健康づくりの推進 など</li> <li>⇒ 幅広い年齢層に対する健康教育の充実 など</li> <li>○ 健康増進施策の充実<br/>⇒ 特定健康診査の受診率向上に向けた健診体制の充実 など</li> <li>⇒ 生活習慣病予防の理解促進に向けた周知・啓発の充実 など</li> </ul> |
| 効果的な介護予防事業の推進   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高齢者が寝たきりなどの要介護状態にならないよう、介護予防事業に重点的に取り組み、各種事業への参加者は増加しているものの、介護予防事業の認知度は低調となっていることから、介護予防の更なる理解促進に向けた取組が必要である。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 介護予防事業の効果的な展開<br/>⇒ 介護予防事業の成果把握等による効果的な事業展開 など</li> <li>○ 継続性のある介護予防の展開<br/>⇒ 介護予防活動の核となる人材やボランティアの育成 など</li> </ul>  |

## 基本目標 2 健康で生きがいのある豊かな生活の実現

| 施策の方向性            | 課題の整理   | 主な施策   |
|-------------------|---|--|
| <p>生きがいづくりの充実</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 身近な地域で気軽に参加できる活動の場や参加機会の充実を図っており、アンケート調査においても、一般高齢者の約8割は「趣味」・「生きがい」があると回答している。</li> <li>・ 一般高齢者に対し、認定者の約半数が趣味や生きがいはないと回答していることから、高齢者一人ひとりが、心身の状況に応じながら、生涯にわたり生きがいをもった明るい生活を送ることができるよう、高齢者の生きがいづくりの充実を図る必要がある。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 市民主体の生涯学習の推進<br/>⇒ 学習機会の提供の充実 など</li> <li>○ コミュニティ活動の推進<br/>⇒ 地域の関係者によるネットワークの構築 など<br/>⇒ 地域の伝統や文化を活かした支援体制づくり など</li> <li>○ スポーツ・レクリエーション活動の推進<br/>⇒ スポーツ・レクリエーション活動を体験する機会の充実 など</li> </ul> |
| <p>社会参画の促進</p>    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 団塊世代をはじめとしたシニア世代の生きがいづくりや社会参画を支援するために、「みやシニア活動センター」を設置し、各種講座の開催や相談事業に取り組み、目標数を上回る市民の利用があった。</li> <li>・ アンケート調査の結果、今後の生きがいとして、「旅行に行くこと」や「友人・知人との交流」、「家族との団らん」といった個人的な活動に関する回答が多くなっているのに対し、「老人クラブ活動」や「自治会活動」などの地域活動に関する回答が少なくなっていることから、高齢者が有する豊かな知識や経験をまちづくりや地域福祉に活かせる環境を整備する必要がある。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ みやシニア活動センターの充実<br/>⇒ 地域社会を支える新たな担い手である「団塊の世代」等に対する支援の充実 など</li> <li>○ 老人クラブ活動等への支援<br/>⇒ 関係機関・団体等と連携・協力した社会活動への参加促進 など</li> </ul>   |

### 基本目標 3 いつまでも自分らしさを持ち，自立した生活の実現

| 施策の方向性       | 課題の整理  | 主な施策  |
|--------------|--|---|
| 福祉サービスの充実    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高齢者ができる限り住み慣れた地域で安心して自立した生活を送れるよう，福祉サービスの充実に取り組んでいるが，福祉サービスの認知度・利用希望が低くなっていることから，さらに周知・啓発に努めるほか，高齢者のニーズに応じた福祉サービスについて検討が必要である。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自立した生活の支援体制整備<br/>⇒ 高齢者のニーズに応じた福祉サービスの提供 など</li> <li>○ 介護者への支援<br/>⇒ 介護者への支援体制の整備など</li> </ul>   |
| 認知症高齢者等対策の推進 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今後，高齢者施策を進めるうえで重点を置くべきこととして，「認知症の人やその家族を支援するサービスの充実」が求められていることから，引き続き，認知症に関する正しい知識の普及やケア体制の充実など，認知症の本人や家族が暮らしやすい地域づくりを推進する必要がある。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 認知症高齢者等対策の推進<br/>⇒ ・ 認知症の正しい理解に向けた周知啓発の推進</li> <li>・ 早期発見・早期診断のための仕組みの構築や医療・介護・福祉が連携したケア体制の充実</li> <li>・ 介護者への支援</li> <li>・ 地域づくりの推進 など</li> </ul> |
| 高齢者の権利擁護の充実  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう，成年後見制度の周知や虐待防止に向けた取組を進めており，引き続き，地域包括支援センターを中心に，民生委員・児童委員等との連携を図りながら，高齢者の権利を擁護するための取組を推進する必要がある。</li> </ul>           | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 高齢者の権利擁護及び制度の利用支援<br/>⇒ 「成年後見制度」や「日常生活自立支援事業」の利用促進 など</li> </ul>   |

## 基本目標 4 介護サービスの利用を通じた笑顔あふれる社会の実現

| 施策の方向性      | 課題の整理   | 主な施策  |
|-------------|---|---|
| 介護保険事業の充実   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 介護保険事業の円滑な実施に向け、ケアマネジメントの適正化など各種事業に取り組み、アンケート結果においても、ケアプランの満足度は約9割となっていることから、今後とも、より一層、適正な介護サービスの確保に努める必要がある。</li> <li>・ 高齢者本人や家族などに対し、介護保険の手引きによる説明や広報紙・ホームページなどを活用しながら、適切なサービス利用に関する周知に努めたが、介護保険制度の認知度が低調となっていることから、更に介護保険料など介護保険制度についての理解を促進する必要がある。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 介護保険サービスの提供               <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒ 高齢者の多様なニーズに応じた地域包括ケアの推進 など</li> <li>⇒ 介護保険制度の理解促進に向けた周知・啓発の充実 など</li> </ul> </li> </ul>   |
| 介護サービスの質の向上 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ アンケートの結果では、「介護人材の確保のための介護従事者への処遇改善」について重点を置くべきとの回答が多くなっていることから、より質の高いサービスの提供に必要な介護人材の確保や、介護従事者の専門的能力を高めることができる研修の場の提供など介護人材の育成支援に努める必要がある。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 介護人材の養成・確保               <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒ 質の高い介護人材の安定的な確保のための取組の推進 など</li> </ul> </li> <li>○ 介護サービス提供事業者の育成・支援               <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒ 県や関係機関と連携した介護人材の育成支援 など</li> </ul> </li> </ul> |